

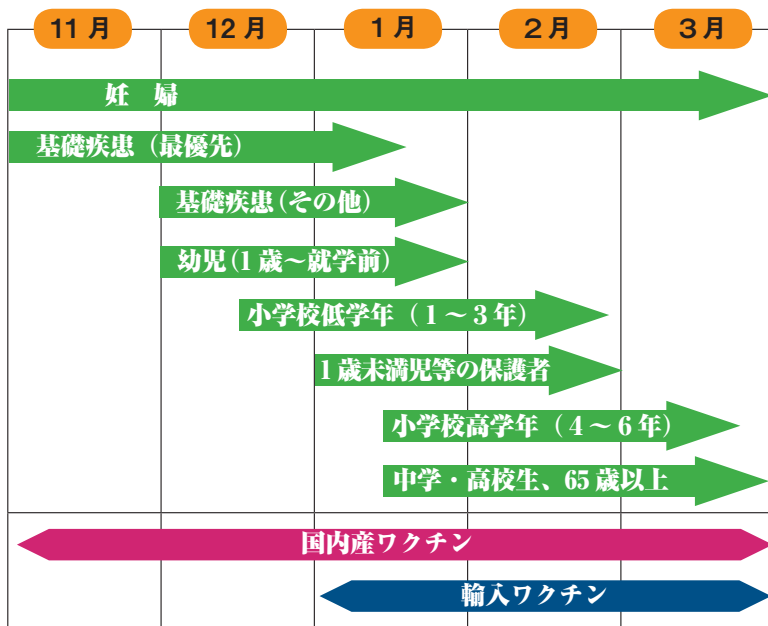
新型インフルエンザワクチンの 優先接種について

新型インフルエンザウイルスは季節性インフルエンザウイルスとは異なり、ほとんどの人が免疫を持っていません。免疫をつけ死亡者や重症者の発生をできる限り減らすことを目的に接種するものです。

そのため、下記の優先接種対象者から順次、ワクチン接種（任意接種）を実施します。



接種スケジュールの目安



※ワクチンの供給量が十分でないため、すぐに予約がとれない場合があります。

ワクチンの接種実施医療機関

【下館地区】 大空こどもクリニック（20-1250）大田医院（22-3914）・大圃クリニック（21-0123）・奥澤耳鼻咽喉科医院（22-2243）・おにさわ小児科（28-8611）・加納内科胃腸科（24-7365）・上牧小児科医院（24-5661）・上牧整形外科医院（22-4081）・ごとうクリニック（23-3215）・小松崎産婦人科医院（24-6327）・小松崎病院（24-2331）・さいとう整形外科（20-1800）・さとうクリニック（20-0310）・下館胃腸科医院（24-8864）・しもだて中央クリニック（22-6868）・鈴木耳鼻咽喉科（25-4332）・すわクリニック（22-2069）・瀬端耳鼻咽喉科医院（25-3387）・田中医院（22-2606）・玉戸レディースクリニック（28-1500）・玉野医院（28-0801）・筑西市民病院（28-2261）・直江医院（22-3081）・野中医院（25-0155）・平間産婦人科医院（22-3741）・ひろせ内科クリニック（25-5655）・堀内皮膚科医院（25-5877）・宮田医院（22-2440）・八島医院（22-3361）

【関城地区】 飯田医院（37-6745）・大圃病院（37-3101）・河上医院（37-2460）・濱名医院（37-6920）

【明野地区】 明野中央医院（52-0026）・かくらいクリニック（52-6711）・幸坂内科クリニック（52-6333）・関谷眼科（52-6600）・原田医院（52-0057）・秀村医院（52-0077）・松岡整形外科（52-0068）・横瀬医院（52-0027）

【協和地区】 海老沢医院（57-2008）協和中央病院（57-6131）・仙波医院（57-2013）・にいはり診療所（57-7700）・埴医院（57-3361）

ワクチンの接種費用

1回目 3,600円

2回目 2,550円

※11月18日現在、1歳から高校生までが2回接種となっています。今後の状況により変化しますので、ご注意ください。

接種費用の助成制度

優先接種対象者（妊婦・基礎疾患を除く）には、11月下旬に助成券を送付いたします。ワクチン接種する際には、医療機関に助成券を提出してください。

助成金額 一律1,000円

※住民税非課税世帯や生活保護世帯は、接種費用が全額免除になります。

◎接種費用を全額自己負担で支払われた人へは、ご指定の金融機関口座へ助成金額を振り込みますので、スピカ庁舎3階保健予防課へ申請してください。

持参するもの：新型インフルエンザ接種済証（医療機関が発行します）・印鑑・振込先口座番号のわかるもの（通帳等）

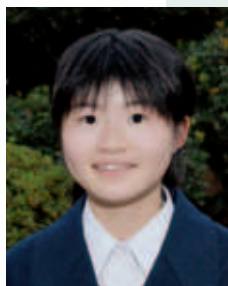
ワクチン接種をされる人は、必ず医療機関に予約してください。

また、左記以外でも接種可能な医療機関があります。かかりつけ医がある場合は、かかりつけ医にご相談ください。

■問い合わせ
保健予防課 ☎ 22 - 0535

少年の主張 茨城県大会

廣瀬菜摘さん（協和中1年）が県知事賞



最
高
賞
を
受
賞
し
た
知
事
の
賞
を
受
賞
し
た
廣
瀬
菜
摘
さん
（協
和
中
1
年）

自分らしさを見失わずに

「自分なんか大嫌い」—— そう思ったことはありませんか。そして、理想通りにならない自分が嫌になり、自分のすべてを否定したくなってしまったことはないでしょうか。

私は、幼い頃から負けず嫌いで、少しぐらい辛いことがあっても自分が納得するまでとことんやらないと気がすまない、そんな性格でした。何事にもポジティブ思考。努力することで大抵のことは乗り越えられる自信があったし、それが私の最大の武器であり、私らしい生き方なのだと思っていました。そして、それは今も変わってはいません。

しかし、そんな私にも、自分を信じることができず、前に進めなくなってしまうような苦い経験をしたことがあります。

私は幼い頃からピアノを習っていて、

毎週ピアノ教室に通うことをとても楽しみにしていました。毎日何回と練習を積み重ね、上達した自分の姿を胸に思い描いていました。

ところが、曲の難易度が上がるにつれ、同じ失敗を何度も繰り返すようになってしまったのです。焦れば焦るほど、思うように指を動かすことができず、自分が嫌になることも度々でした。そんなある日、練習をしている私の耳にこんな言葉が聞こえてきたのです。

「あの人なら、このくらいの曲、もっと上手く弾けるのに」。

私は一瞬、自分の身体から血の気が引いていくのが分かりました。

「私だって一生懸命頑張っているのに」。

私は、人と比較されたことよりも、私のこれまでの努力を否定されたことの方がショックでした。私は自分のすることすべてに自信がもてなくなってしまい、そんな自分が嫌で嫌で仕方ありませんでした。

しかし、そんな私を救ってくれたのは、ある一人の友達の存在でした。その友達には私の様子がおかしいことに気付き、そっと声をかけてくれたのです。

「なっちゃんなら大丈夫。人の言うことなんか気にしないで頑張ろう」。

友達のこの一言が、どれだけ私を勇気づけ、励ましてくれたかわかりません。そして、友達はこう続けました。

「元気がないなっちゃんなんて、なっちゃんらしくないよ」。

私ははっとしました。人より上手くできなくなってしまうことはどうでもいい。自分が納得できるまでとことんやる、それが自分らしさだったのでないか。そのことを、私はこの時まで忘れてしまっていたのです。もしかすると、一番周りの目を気にして、人と比べていたのは私自身だったのかもしれない。

人に誇れるものが何もないとか、何のとりえもないから自分は役に立たない人間なのだとか、人と比べたり、人に認めてもらえないことを嘆いたりする前に、まず、自分自身が自分を認めてあげられる人間でありたい。そして、私を励ました勇気づけてくれたあの友達のように、私自身が他の誰かを支えてあげられるようなそんな存在になれたら、ただそれだけで私が生まれてきたことには大きな意味があるのだと、そう思える自分でありたい。私は今、そう思うのです。

テレビでよく目にする悲しいニュース。将来を悲観して自ら尊い命を絶つ若者は

後を絶ちません。私が、ほんの些細な一言で自分を見失ってしまったように、目の前の壁を乗り越えることができず苦しんでいる人は多いと思います。でも、視点を変えれば、必ずまた違った明日が見えてくるはずですよ。

涙より笑顔。できない自分を嘆くより頑張る自分を好きになろう。誰のものでもない私の人生だから、ゴールを決めるのは私自身。私はこれからも、自分の目標に向かって、私らしく一步一步歩んでいきたいと思えます。

廣瀬麻吏恵さんが 県議会議員賞



議
会
の
賞
を
受
賞
し
た
次
知
事
の
賞
を
受
賞
し
た
廣
瀬
麻
吏
恵
さん
（下
館
中
3
年）

『かけがえない今を生きる』——

年の瀬に毎年祖父と行っていたそば打ち。その年は「面倒くさい」と祖父の誘いを断ってしまった。その後、祖父は病が見つかり帰らぬ人。「大好きだったおじいちゃんに届くように発表しました。これからは、人のために今できることを一生懸命にやっつけていきたい」と廣瀬さん。